

平成 31 年度・令和元年度(2019 年度)事業報告

【平成 31 年度・令和元年度事業報告】

当該年度より、熊本県臓器移植連絡調整者(県の移植コーディネーター)の所属が、熊本赤十字病院総務課に異動したことや当財団の設立 40 年シンポジウムの開催のため活動内容が当初の計画と異なる部分が生じています。

また、新型コロナウイルス流行の影響により第 2 回理事会が文書による審議となりました。

《事業目的》

臓器提供でしか治らない人が、希望どおりの臓器移植を受けられ、また、臓器提供希望者が希望どおりに臓器提供を行う事の出来る社会の実現のために移植医療の推進を図り、もって県民の健康及び福祉の向上に寄与することを目的に、眼球提供希望者の募集、眼球移植希望者の調査及び相談、角膜及び強膜のあっせん、臓器移植希望者の組織適合検査等の助成、移植医療に関する知識の普及啓発及び移植医療に関する調査及び研究並びに支援に関する事業を行うものとする。

1. 普及啓発事業（公）

移植医療に対する県民の理解と協力が得られるよう、パンフレット等を作成し、市町村、保健所、医療機関等に配布するとともに、報道機関等を通じての移植医療に関する知識の普及啓発にあたった。

また、県内各団体、関係機関における啓発活動を進めるため、各団体主催の会等に参加した。

(1) 各種行事での普及啓発

1) 市民健康フェスティバル

日程 令和元年 9 月 29 日（日）

場所 熊本市総合体育館 大体育室

主催 熊本市、熊本県医師会、熊本市医師会他

当財団は例年協力団体として参加し、ブースを設置している。

市民の皆様に移植医療に対する理解を深めていただくために、献眼の現状及び手順や臓器提供の意思表示について説明を行いながらご支援・ご協力を呼びかけた。また参加者へ意思表示カード等資料やグッズを配布した。

ブースへの来訪者：約 120 名、腎移植等についての相談 10 件程度

2) 市民公開講座 2019 「いのちへの優しさと思いやり」

日程 令和元年 10 月 20 日（日）

場所 くまもと県民交流館パレアホール

主催 熊本県、熊本赤十字病院、KKT くまもと県民テレビ

共催 (公社)日本臓器移植ネットワーク、熊本県移植医療推進ネットワーク協議会、(公財)熊本県移植医療推進財団 ※共催団体として参加

3) 黄色い羽根街頭募金運動街頭キャンペーン

日程 令和元年 11 月 3 日（日）

場所 下通りアーケード

主催 熊本県腎移植者の会

下通りアーケードを通行中の方々に、臓器提供、臓器移植等に関するパンフレットの配布と黄色い羽根募金活動を行った。

4) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会街頭キャンペーン

日程 令和元年 11 月 24 日 (日)

場所 下通アーケード パルコ前

主催 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会

移植医療に関するパンフレット等配布し、意思表示を呼びかけた。

5) 公益財団法人 熊本県移植医療推進財団設立 40 年シンポジウム

日時 令和 2 年 2 月 9 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00

場所 熊本赤十字病院 救急棟 4 階 403 多目的ホール

主催 公益財団法人 熊本県移植医療推進財団

令和元年度は当財団が昭和 54 年(1979 年)に財団法人熊本県アイバンク協会として県の衛生部内に設立され 40 年が経過した節目であった。そこで、資料の整理や情報の共有を目的としたシンポジウムを開催した。

(2) 感謝状の贈呈

1) 献眼者の葬儀に参列し、儀式の中で御遺族に対し代表理事感謝状の贈呈を行った。

令和元年度 参列 4 件(献眼は 9 件)、感謝状贈呈のみ 4 件

2) 献眼者を顕彰するため、厚生労働大臣感謝状を申請し、贈呈を行った。

令和元年度 8 件(献眼は 9 件)

(3) 普及啓発チラシ等の作成

1) 熊本県及びライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会、熊本県腎臓病患者連絡協議会、熊本県腎移植者の会と共同で、移植医療の普及啓発のためのパンフレット等を作成した。

(コミュニケーションブック 『for』 vol.20)

2) 『ざいだん NEWS』の創刊

財団設立 40 年シンポジウムの開催に合わせ広報誌として発行し、賛助会員に送付した。

(4) 講義・講話・研修の実施

1) 熊本大学薬学部 1 年生 約 100 名

日時 令和元年 5 月 30 日 (木) 10 : 20 ~ 11 : 50

内容 講義 薬学概論 I 「薬学での学びを活かした移植医療とのかかわり

—社会における責任—

新 1 年生に講義をするようになって 10 年以上が経過したが、高校等での移植医療に対する情報提供が不足していると感じる。意思表示の大切さを伝えた。

2) 高野病院 緩和ケア病棟職員 15 名

日時 令和元年 5 月 30 日 (木) 17 : 00 ~

内容 研修「心停止後の角膜提供について」

献眼希望の患者さんへの対応を中心に説明した。実際に、患者さんが入院中であつたので、熱心に聴講され質問も多かった。

3) 熊本赤十字病院 熊本県立東稜高校インターンシップ 4名

日時 令和元年 8月 22日 (木) 14:00~15:00

内容 講義「移植医療の在り方について」

日本や熊本県内の移植医療の現状や意思表示の必要性などを中心に説明した。高校2年生ではまだ考えたこともないようで、正しい情報をもとに自分のこととして考えてほしいと伝えた。

4) 熊本県医薬品小売商業組合令和元年度第2回登録販売者継続研修会

日時 令和元年 9月 8日 (日) 9:35~11:05

内容 講義「熊本県の角膜移植の現状と移植医療に関する問題」

～医療に関わる我々に何が出来るか～

5) 熊本市生涯学習推進課「ふれあい出前講座」

日時 令和元年 9月 28日 (土) 10:00~12:00

内容 講義「高齢者にもできるいのちの贈り物について～角膜と骨～」

土日は出前講座に対応していない講師が多いそうで、市担当者の参加もなかったが、受講者は大変熱心で、高齢者ができることや臓器売買などについても質問された。

6) 県下ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会研修会 会員約 120名

日時 令和元年 10月 9日 (水) 13:00~16:00

内容 研修会(献血、骨髄移植、献眼・臓器移植等について各講師より説明)

7) 県下各ライオンズクラブ(LC)への財団設立40年シンポジウム開催協力依頼

各LCの例会へ訪問し、参加及び活動資料等の提供や運営手伝いなど呼びかけた。

8) 各関係団体の総会等へ参加し、情報交換等の交流を行った。

熊本県腎臓病患者連絡協議会大会 令和元年 6月 16日(日)

熊本県腎移植者の会 総会 令和元年 6月 23日(日)

熊本市CKD対策推進会議 令和元年 8月 1日(木)

(5) 移植医療ボランティアの育成

熊本赤十字病院、熊本県腎移植者の会と連携し、移植ボランティアを育成し「黄色い羽根募金活動」等を行った。県下約3,000ヶ所に資材等送付した。

令和元年度募金総額 約100万円

(6) 熊本県移植医療推進財団のホームページの更新

ホームページに掲載している角膜提供者数、角膜移植者数、角膜移植待機者数のデータ等を月単位で更新を行った。また、会議等活動報告も随時行った。

2. 提供者募集管理業務（公）

臓器移植には、健康な臓器提供希望者が不可欠であるため県民の健康に関する普及啓発を図り、意思表示カード等への記入を呼びかけることにより臓器提供者の募集を行うことを目的に、県内各市町村成人式で、新成人を対象に普及啓発資材等を配布した。

令和元年度 新成人数約 11,500 人

※臓器(角膜)提供意思登録については、日本臓器移植ネットワーク、日本アイバンク協会のホームページ上でのオンライン登録によって募集が行われている。

3. 移植希望者の調査事業（公）

(1) 腎移植希望者登録

熊本県内腎移植希望登録者 168 名（全国 12,506 人 2019 年末現在）

(2) 角膜移植待機患者数調査（公益財団法人日本アイバンク協会との連携）

毎月、移植施設より移植待機患者の報告を受け集計し、日本アイバンク協会、九州各県アイバンク連絡協議会へ報告を行った。

令和元年 3 月 31 日現在の待機患者数 120 名

4. 摘出あっせん業務（公）

先天的又は後天的な角膜、強膜の疾患により、視力低下又は失明した方を角膜、強膜の移植により視力を回復させることを目的に、安全性の確保された角膜、強膜のあっせんを公平、公正に行った。

献眼件数 9 件、あっせん件数 17 件

5. 組織適合検査の助成事業（公）

腎移植希望者の新規登録のための組織適合検査（HLA検査）費用が、税込 26,400 円と高額なことから、検査費用の一部補助（1 人 9,000 円）を実施した。

令和元年度実績 18 件

6. 移植調査研究事業（公）

移植医療推進に関係する学会、研修、会議等への派遣を支援した。

(1) 全国アイバンク連絡協議会・第 37 回全国アイバンクワークショップセミナーへの参加

日時 令和元年 7 月 26 日（金）13：00～16：00

27 日（土）14：00～16：30

(2) 全国移植医療支援組織会議への参加

日時 令和元年 11 月 27 日（水）13：30～16：00

場所 ビジョンセンター田町 204・202 会議室

7. その他事業（公）

（1）人材育成

角膜移植に携わる医療関係者の研修に対する支援

東京歯科大学付属市川総合病院眼科 角膜移植研修医 草野勇貴医師に、財団設立 40 年シンポジウムでの講演を依頼し、また医師の研鑽目的の情報提供を行った。

（2）各種会議

1) 移植推進委員会

日時 令和元年 5 月 14 日（火）18：15～19：10

テーマ ・令和元年度事業計画及び財団の体制について
・献眼の待機体制及び摘出医依頼方法について
・移植医療の普及推進について

推進委員会のメンバーは、より現場に近いところで移植医療に携わっている立場であり、当財団の今後の活動報告体制など具体的な意見が出された。またここでの意見は理事会、評議員会に報告された。

2) 第 1 回理事会

日時 令和元年 5 月 20 日（月）16：00～16：45

第 1 号議案	平成 30 年度事業報告（案）について	承認されました
第 2 号議案	平成 30 年度収支決算（案）について	承認されました
第 3 号議案	その他について	
	・役員交代及び事務局員(案)について	
	・令和元年度移植推進委員会の報告	承認されました

3) 評議員会

日時 令和元年 6 月 5 日（水）18：00～18：50

第 1 号議案	平成 30 年度事業報告(案)及び平成 30 年度収支決算（案）について	承認されました
第 2 号議案	令和元年度事業計画及び令和元年度収支予算について	承認されました
第 3 号議案	その他について	
	・役員交代及び事務局員(案)について	
	・令和元年度移植推進委員会の報告	承認されました

4) 第 2 回理事会

新型コロナウイルス流行により、文書による審議となりました。

第 1 号議案	令和元年度補正予算（案）について	承認されました
第 2 号議案	令和 2 年度事業計画（案）について	承認されました
第 3 号議案	令和 2 年度収支予算（案）について	承認されました
第 4 号議案	その他について	
	・財団設立 40 年シンポジウムの報告について	
	・令和元年度賛助会員の加入状況について	承認されました